

令和2年度 東村山市障害者自立支援協議会 相談支援部会年間予定

| 回 | 年月日 | テーマ | 備考 | |
|---|----------------|---|--|--|
| / | 4月16日 | 中止 | | |
| / | 5月21日 | | | |
| / | 6月18日 | | | |
| 1 | 7月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・自粛期間中の各機関の困りごとの共有 ・年間計画の確認 | | |
| 2 | 9月17日 | <ul style="list-style-type: none"> ・部会長、副部会長の選出 ・情報交換 他 | | |
| 3 | 10月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換を毎回行う ・専門分野ごとの小集団開催 ・他分野の事業所との意見交換（障害児通所事業所、ヘルパー事業所等） ・事例検討 ・困りごとへの具体的な意見交換 ・障害者総合支援法改正の動向 ・地域生活支援拠点における相談支援事業所の役割 等 | | |
| 4 | 11月19日 | | | |
| 5 | 12月17日 | | | |
| 6 | 2021年 1月21日 | | | |
| 7 | 2月18日 | | <ul style="list-style-type: none"> ・来年度の取り組みの検討 | |
| 8 | 3月18日 | | <ul style="list-style-type: none"> ・年間のまとめ | |

令和2年7月相談支援部会の報告

○情報交換（出された意見）

- ・交代勤務で訪問は控え電話対応にしていた所、交代勤務であっても相談は変わらず面談も行った所、一人職場のため以前と同様に活動していた所と様々だった。
- ・一人暮らしの方が発熱した際、とても悩ましかった。ヘルパーをしばらく休ませた。車で通院させることも不安だったので、保健所とやりとりしつつ食料を運ぶ程度の支援をした。
- ・学校にも放デイにも行けず、ずっと在宅でいた人もいて、相談に来た時に「久しぶりに人と話した」と。相談につながっていてよかったと感じるケースがいくつかあった。
- ・時間をかけて通所に慣れてきて自力通所になった人が、自粛期間を経て通えなくなってしまった。
- ・通所先に通えず、家族の負担が増え、家族の気持ちを聴くことしかできなかった。
- ・日中活動も時間が縮小されていることが多く、通所をやめる人もいた。その分ヘルパーや訪問看護の役割が大きくなった。
- ・支援のバランスが崩れると、体調維持が難しくなる方もいる。
- ・利用者で、「ヘルパーを当たり前に使っていたけれど、支えられていたのだなと気づきました」と話す方もいた。
- ・引きこもっても咎められないで生活できる、引きこもりの人には優しい社会となったと感じた。

○相談支援部会年間スケジュールと取組内容について（出された意見）

- ・三密を防ぐため、障害特性ごと小集団で行うのはどうか（例：精神障害、児童）。
- ・年間予定を立てるのは難しいが、予定がなくても集まる機会は欲しい。
- ・情報交換できると安心。小規模でもやってほしい。
- ・新型コロナウイルスの影響は見通しが立たない。集まって情報交換することだけ決めておき、その中で都度できることに取り組みたい。